

以下説明資料のご確認の上、
趣意への賛同と活動にご協力いただける方は、
申込フォームよりお手続きをお願いいたします。

(申込URL)

1. 創成イーストを取り巻くまちづくり気運と課題

- 札幌都心において、創成川以東のまち「創成イースト」は札幌開拓を支えたものづくりの拠点であり、その歴史の断片を今に伝える資源が残るまちです。平成に入り共同住宅の立地等の土地利用転換が進展し、今日では様々な都市機能を身近に享受できる暮らしの場としての様相を呈しています。また北海道新幹線の札幌延伸、環境首都さっぽろに資する水素ステーションの立地等、札幌のまちづくりをけん引する開発動向も活性化しています。加えて北海道神宮頓宮をはじめ、街なかの公共的空間における地域活動やこれらの拠点における子ども・若者をターゲットとした動きも生まれ、草の根まちづくりが展開されています。
- 都心居住を支えるエリアとなりつつある創成イーストでは、特にコミュニティに関わる課題が顕在化しています。新旧住民のつながりの希薄さに代表されるひとつのつながりを生む場や機会の不足、子どもをはじめ、様々な人にとっての居場所の不足は、創成イーストらしい営みとなりわいのシーンを生み出していく上では重視すべき課題となっています。



2. 私たちの目指すもの

様々な変化の機運が見える創成イーストにおいて、それぞれの動きが街に無縁ではなく、まちでの営み・なりわいの質の向上につながる動きとして活かす上で、ありたい姿と実現の方向性を共有することが必要と考えました。そこで、令和6年度にまちのビジョンとして「創成イースト まちの縁の育み方（案）」を作成しました。まちを良くするための礎となる人のつながり・輪の育みと、未来を担う子ども・若者の成長を支える取り組みを相互に連携させながら進めることを目指すこととし、その推進を担う場とし「創成イーストリンク」を設立することとしました。



1-1 創成イーストのありたい姿=未来像

札幌の縁側 創成イースト

～ひとりでも、自分らしい時を刻み、
だれとでも“ご縁”を育めるまち～

縁側は、日本建築独特の“内と外の境界を曖昧”にした“開かれた場所”です。北海道ではあまりなじみがありませんが、一人でひなたぼっこをしたり、家族の団らんが垣間見えたり、ご近所のみなさんが集う“居心地のいい空間”、そんなどこか昔懐かしい風景は連想できるのではないでしょうか。

創成イーストというまちも、愛着の持てる身近な居場所になり、“ご縁”が側にある、あたたかいまちでありたい。縁側のような“原風景”として語られるまちを目指します。



「必要な成功体験」
縁側の実装プロジェクト

創成イーストリンク
モデルストリート「東4丁目線」
における「9つの縁側」づくり

- 縁側モデル01 つながるFARM
 - 都市の中心地で土を触り人と結び合う。学校や幼稚園、保育園等によるコミュニティ菜園
 - 近道ビルが収穫する自主管理菜園
 - 都市部ならではの収穫体験を体験する市民菜園
 - ICTを活用して交流促進のスマート菜園
- 縁側モデル02 朝市と夕市
 - 仕事や学校の前後にふらっと立ち寄れる、手の届かない近づく距離でマーケット
 - 人がほほえましい街並
 - 折りたたみ式棚
 - すぐに目隠し入れできる用紙箱、収納箱
- 縁側モデル03 ミチあそび
 - かつてミチはご近所とつながる重要なルートだった。道を復活して歩行者が歩みやすい街並を創出する
 - 散歩や遊歩、ボードゲームが楽しめるベンチ
 - 遊歩道や遊歩道が楽しめる多岐用途の遊歩道
 - 自然にタンクタンバ
- 縁側モデル04 自己表現の聖地
 - 路上や小段で「居たい自分である」音楽や絵画なんでもあり、自分らしい表現が路上に生み出されるストリートで自己表現と専門家を創出
 - 自由にアートパフォーマンスができる「スペース」
 - 若くは子どもたちの「居」
 - ショートフィルム制作
- 縁側モデル05 街のHOT SPOT
 - 夜は無縁な空間、昼間は賑やかな街並りに加え、昼と夜とを繋いで賑わいを創出
 - 夜間にも活用できる「カマドベンチ」
 - 都市部ならではの「居たい空間」
 - 巨大マッシュルームサービス
- 縁側モデル06 移動式店舗
 - 店主と住人、住人同士、何もない会話が飛び交う賑やかな空間、ご近所での賑わいや子どものチャレンジメニューの提供も。
 - 移動式店舗をふるまう「シモト移動の店舗」
 - 子どもや若者のチャレンジセンター
 - 街の賑わいを創出する移動店舗
- 縁側モデル07 ざ・祭り
 - 年に一度は特別なひとときとなるビッグイベントを開催する。（街は、お祭り気分）
 - 祭りや遊び（レンタル店、おもてなし会館等）
- 縁側モデル08 開かれた沿道1階
 - 沿道建物のグラウンドレベルと道路や歩道のアクティビティが連携する。
 - 沿道ビルから生み出されるオープンカフェやBARなど
- 縁側モデル09 シモト運営の公園
 - 地域団体や保育園等と連携してシモトが運営に携わることによる公園づくりを創出する。
 - 遊歩道づくり
 - 野球場
 - コンテナショップ

3. 活動領域とターゲット

①活動領域

札幌市の都心まちづくり計画において、“創成東地区”は東西を創成川と東8丁目北光線、南北を北8条通りから国道36号線によって囲まれるエリアを指してきました。一方、町内会や学校区等の既存のコミュニティのつながりを見ると、この領域に留まらず、苗穂駅周辺も視野に入れる必要があります。イーストリンクの活動領域は行政計画との連携も視野に入れながらも、人のつながりを重視し、概ね、創成川以東、JR函館本線と豊平川に囲まれたエリアを対象とすることとします。

②ターゲット（子ども・若者と縁の下の力もち）

創成イーストは歴史、立地環境等、様々な財産を有し、かつ、まちづくりの機運に恵まれ、ビジョンの実現に向けた取り組みを進める好機にあります。まちの縁を育む取り組みを進める上で、私たちは未来を担う子ども・若者をターゲットにあてたアクションを進めることとしました。街なかにおいて**子どもたちが安全・安心に日常を過ごせる、かつ、大人との交流から様々な学びを得る、活動を通じた感動を生む等、街で過ごした記憶を育み、彼らの未来をより明るくする活動を推進**します。また、こうしたアクションを支えとともに、**まちの住民として様々な主体が顔見知りになり、何かを進める上で手をつなぐことが出来る関係づくりを進め、街を支える“縁の下の力もち”となる盤石なネットワークを築いていきます。**



4. 活動の基本方針

①創成イーストの“ヒト”のつながりを育む

- ▶いとなみ・なりわいを持つ皆さんが、同じまちに住む“住民”として、お互いが顔見知り、相談・協力し合える関係を育み、地域の礎となる持続可能性の高いネットワークを構築します。

②まちの人にとって「原風景」となる記憶を育む

- ▶子供たちが創成イーストで様々な活動に取り組み、実現する体験を通じて、この街で過ごした記憶を育む場や機会を提供します。
- ▶街なかの空間が人々の居場所になる取り組みを進めることで、子どもが日常を過ごす、固有の風景を生み出します。

③子どもが安全・安心に育つ土壌となる「地縁」を育む

- ▶不特定多数の人々が行き交う都心における暮らしの場における子供たちの健やかな成長と安全・安心の創出につながる世代を超えたつながりを生みます。
- ▶子どもと触れ合う機会を通じて大人同士のつながり・協働の機会を創出します。

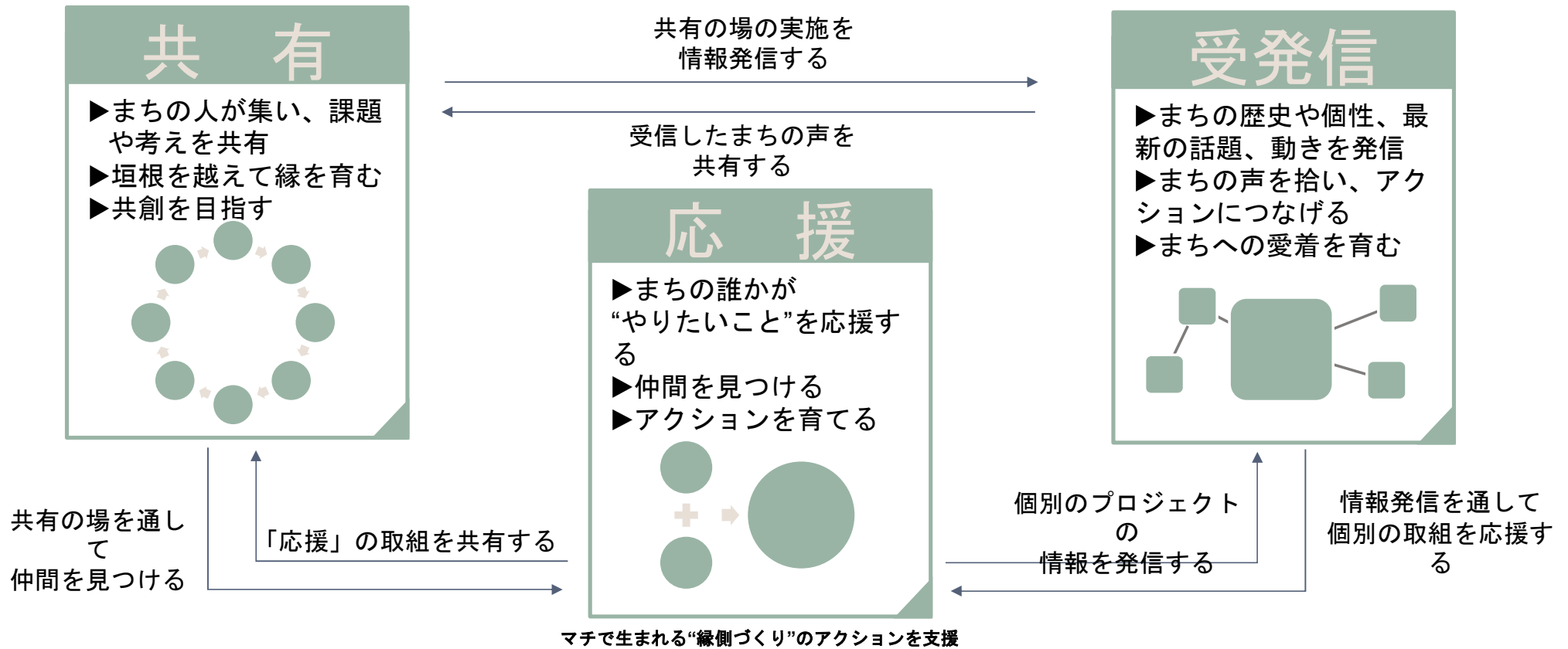
④札幌の街なかで「誰かの人生のワンシーン」を創る

- ▶創成イーストが様々な人々にとって挑戦できる街となるようなきっかけとなる場・機会を提供します。



5. 創成イーストリンクの仕組み

人と人、まちと人をつなげ、未来を担う人づくりを進めるうえで、創成イーストリンクは「共有」「応援」「受発信」の3つの機能を果たす場となります。



6. 創成イーストリンクの運営体制

■ イーストリンク 執行体制

① 役員構成

- ◎ 会長：サッポロ不動産開発（東出）
- ◎ 副会長：米澤煉瓦（米澤）
- ◎ 監事：石塚建設興業（宮内）
- ◎ 幹事：北海道新聞社（茂木）

さっぽろ創成社（柴田）
commons fun（林）
ものかたり（倉本）

◎ パブリックパートナー

：札幌市、児童会館、町内会

② 活動部会

◎ 部会長 commons fun（林）

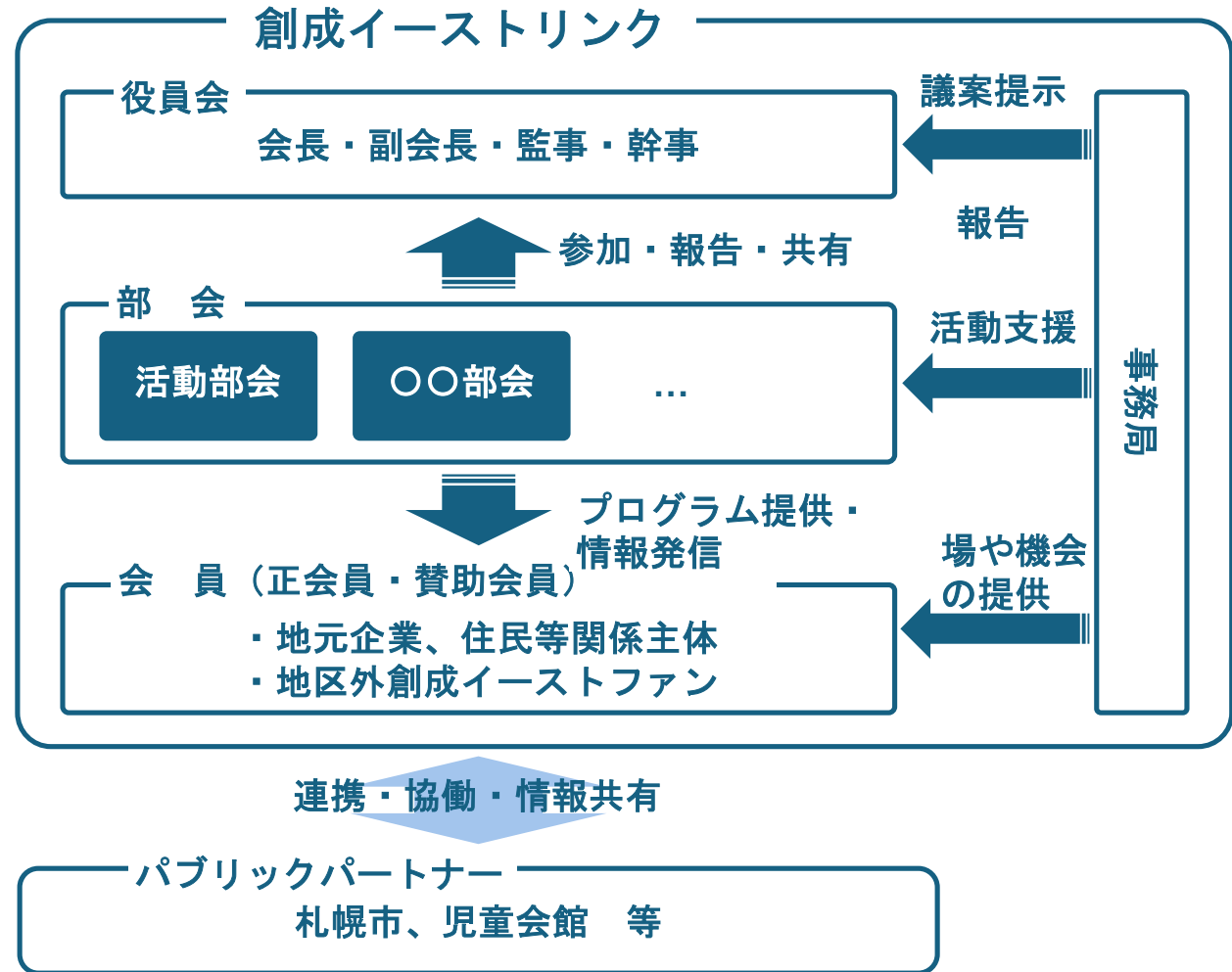
③ 事務局：近藤、commons fun（平野）

サッポロ不動産開発（布施）

④ 会員

◆ 正会員：総会での議決権有

◆ 賛助会員



7. 活動への参画のお願い

創成イーストリンクの活動は、地域のみなさんの熱意・共感によって推進することができます。また、まちの動きや課題を共有し、取り組みの在り方を探る地域のプラットフォームとして成立するためには、より多くの皆様のご理解と参画が必要となります。

まちの子供たちをまちが支える持続的な仕組みづくりを進める上で、創成イーストリンクの趣意にご賛同いただき、活動に対する参加・協力・支援をお願いします。

会員制度

- ・創成イーストリンクは非営利に、地区のビジョンの実現に向け、参加者の協働による取組を推進することを基本とします。
- ・そのため参加者はその関わりに応じて、正会員または賛助会員として、創成イーストリンクに加盟していただきます。
- ・会費は正会員（総会での議決権あり）は5万円/口、賛助会員は2万円/口とします。

活動資金の使い道

- ・皆様からお預かりする会費は、創成イーストリンクの活動資金として、様々な縁側づくり事業や皆さんのネットワーク作りに資する場・機会の運営、定常的な窓口としての事務局運営費として使用させていただきます。

会員への フィードバック

- ・会員の種別に応じて、会の運営に係る深度、内容が変わります。
- ・基本的には会員の種別に依らず、活動成果・状況の共有（情報受発信媒体へのアクセス権）、各種の情報共有の場への参加、イベント等の事業への参加が可能です。
- ・正会員はこれに加え、総会における議決権や役員への加盟等が別途可能となります。
- ・活動に参加することで広告事業等においてまちづくり参加企業としての発信が可能です。